

黒部川ダム排砂評価委員会とは・・・

1. 連携排砂実施までの流れ

連携排砂の実施にあたっては、その方法について学識経験者及び地域の意見を頂きながら実施しています。（「【参考】連携排砂実施までの流れ」参照）

2. 黒部川ダム排砂評価委員会の概要

黒部川ダム排砂評価委員会は各種の環境項目に詳しい学識経験者によって構成され、今年度の実施した連携排砂に伴い実施した環境調査結果の評価、翌年度の連携排砂計画(案)に対する審議・評価を行うことを目的に設置されています。

黒部川ダム排砂評価委員会 委員名簿

（敬称略・五十音順）

	氏名	役職（専門分野）
委員長	たなか すすむ 田中 晋	富山大学名誉教授 （生物学【淡水魚】）
委員長 代行	たけうち あきら 竹内 章	富山大学理学部教授 （海洋地質学、構造地質学）
委員	いいだ たかじ 飯田 貴次	独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所 所長 （水産資源）
	おおくま たかし 大熊 孝	新潟大学名誉教授 （河川工学）
	くすい たかし 楠井 隆史	富山県立大学短期工学部教授 （水処理工学、環境毒性学）
	すみ てつや 角 哲也	京都大学防災研究所 水資源環境研究センター教授 （水工水理学、ダム工学）
	ひろせ しんいち 広瀬 慎一	元富山県立大学短期大学部長 （利水工学）
	ほんじょう つねお 本城 凡夫	香川大学瀬戸内圏研究センター ゼネラルマネージャー （水産増殖環境学）
	わかばやし ひろし 若林 洋	富山県農林水産総合技術センター 水産研究所長（漁業）

3. これまでの開催状況

黒部川ダム排砂評価委員会は平成10年3月26日に第1回が開催され、これまで42回の委員会が開催されてきました。委員会の開催は、当年度の連携排砂に伴う環境調査が終了する1月頃および連携排砂実施期間前の3月頃の年2回となっています。

今回の委員会では、第42回黒部川ダム排砂評価委員会にて評価いただきました宇奈月ダムSS値の低減や河川付着藻類の変化などの対応を平成27年度の連携排砂にかかる諸計画(案)に反映し、審議していただくこととなっております。

なお、最近の開催状況は下記のとおりです。

○第42回 平成27年1月29日(木) 9:30~12:00

- 【議題】 1. 平成26年度連携排砂の実施経過について
2. 平成26年度連携排砂に伴う環境調査結果について

○第41回 平成26年3月25日(火) 14:00~16:00

- 【議題】 1. 平成26年度連携排砂計画(案)について
2. 平成26年度連携排砂に伴う環境調査計画(案)について
3. 平成25年度宇奈月ダム湛水池内ボーリング調査結果について

4. 過去の開催結果

これまでの黒部川ダム排砂評価委員会の配布資料及び開催結果については以下のホームページURLにおいて閲覧、ダウンロードすることができます。

【国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所ホームページ内

「黒部川ダム排砂関連情報」バナーより】

<http://www.kurobe.go.jp/haisa/haisa.cgi>

【参考】連携排砂実施までの流れ

連携排砂を実施するにあたり下図のような流れで手続きを行っています。

